【MM　DMPB療法(2－9コース目)について】
(ダラザレックス＋アルケラン+プレドニゾロン＋ベルケイド)

様　　コース目

お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	1日目
アセトアミノフェン錠 ニポラジン錠 モンテルカスト錠	副作用を抑える薬です	30～90分前に内服		1回1錠ず																																									
ハイドロコートン注 デキサート注	副作用を抑える薬です	60分																																										
ダラザレックス注(16mg/kg)	抗がん剤です	4～7時間																																										
デカドロン錠	副作用を抑える薬です	内服																																										
ベルケイド注(1.3mg/m2)	抗がん剤です	皮下注射																																										
アルケラン錠(9mg/m2)	抗がん剤です	内服																																										
プレドニゾロン錠(60mg/m2)	ステロイドです	内服																																										

胃を荒らすことがありますので胃薬も一緒に飲みます。
免疫が低下しますので、手洗い・うがいを心がけましょう。

治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	1日目
自覚症状	アレルギー様症状																																											
		発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんま疹、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせください。																																										
	食欲不振・吐き気																																											
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																																										
	発熱																																											
		皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																																										
	下痢																																											
		便の回数が多くなったり強い腹痛をともなったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																																										
	便秘																																											
		水分を多めに摂りましょう。続く場合はお薬で調節した方が良いのでお知らせください。																																										
	倦怠感																																											
		疲れ脱力感などを感じたときは無理をせず、体を休めてください。																																										
	手足のしびれ																																											
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																																										
検査値	白血球減少																																											
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																																										
	赤血球減少(貧血)																																											
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																																										
	血小板減少																																											
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																																										

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていませんが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

●咳・息切れ・息苦しさ　●心臓・血管への影響(高血圧、胸の圧迫感、足のむくみ)　●帯状疱疹(皮膚のチクチクするような痛みから始まる発疹・水ぶくれ)

その他の副作用・・・発疹・皮疹、貧血、不眠など

※実際の投与スケジュールと異なる場合があります。
本資料は参考としてお使いください

＊注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
＊上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
＊それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
＊何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

国家公務員共済組合連合会
大手前病院